



学校だより



NO. 9
東京女学館小学校
令和7年12月1日

授業研究

十一月十八日、本校では授業研究会がありました。

授業研究とは、聞きなれない言葉かもしれません。簡単に言うと「教員が授業について主体的に研究し、授業力向上を目指すもの」と言えます。教員が授業を深める校内研究会の一つの形です。

授業当日は、一人の先生が授業を行い、それを他の先生方が参観します。その後、授業について協議をし、その教科を専門としている先生をお招きして講評していただきます。この一連の流れが、授業研究会と言われるものです。

実はこれ日本発のもので、教員の資質向上の研修制度として、世界リードしている存在なのです。国際算数数学授業研究プロジェクトIMPULS (International Math-teacher Professionalization Using Lesson Study) として、東京学芸大学の支援のもと、世界の先生方が研究・研修に努めています。私が勤めていた学校でも、世界数か国から五十名ほどの先生方が集まり、同時に通訳しながら授業研究会を実施したことがあります。そのシステムを、それぞれの国で広めていくのが集まつた先生方のミッションです。海外から集まつた先生方は真剣そのもの。熱心に授業や協議会の様子を参観していました。教員の研修は、学習指導要領生活科の次の内容を受けてのものです。

さて、十八日の本校の授業研究会は、二年生の生活科で実施しました。単元は「うごくわらじのおもちゃ」。なかに、「わくわくしてくる单元名です。これは、学習指導要領生活科の次の内容を受けてのものです。

遊びの工夫

遊びに使う物を作つた遊び方を工夫したりしながら、

本校の校内研究会の研究テーマ「子どもが自ら課題を発見し、解決していく授業構成についての研究」のもと、授業が展開されました。

先生は今までの時間で作った動くおもちゃについて、一度立ち止まり「レベルアップさせよう」と投げかけました。子どもたちは考えます。動くおもちゃのキーポイントになる材料は何だろう。輪ゴム、風ばね、磁石…。自分が作った動くおもちゃと向き合い、さらにレベルアップさせるためにはどうすればよいかを考えるとともに、目は友だちのおもちゃに向かいいます。

おもりを多くしたら
はやくすすむかも知れ
ないよ。おもりをおもくし
たり、かるくしたりして
ちょうどせつしてみて！

ゴムをもっと多くする
といいんじゃないかな?
あと、もう少しまわ
した方がいいんじゃないかな?

お友だちに向けた「アドバイスカード」には、このような記述があり、そこからお友だちとの話し合いが始まります。「私は、輪ゴムを増やしたいと思うよ。」「でもね、私はこう思うの。」「廊下に行つてやつてみよう!」子どもたちの夢は広がります。

この授業研究会の次の日の授業では、友だちのアドバイスをもとに、自分の作品に手を加えました。ある子の感想です。アドバイスを受けた子は、自分の作品がよりよくなることにより高まるのです。本校が目指す相互啓発の姿がありました。

友だちのいんをきいてゼロベースで切りこみのところをはつたら
うまくなりました。

3年生 広尾商店街店員体験

A組：11月13日（木）・B組：20日（木）

社会科担当 教諭

東江寺さんや広尾商店街の振興組合と多くのお店の方々のご厚意により、今年度も店員体験学習を行うことができました。

～児童の感想～

○私はイタリアンのロトンドという店で、店員体験をさせていただきました。お手ふきやナフキンのたたみ方を教わったり、ナイフやフォークやコップのおき方を教わったりしました。私はその中でも一番楽しかった仕事は、ねつとうの中にフォークやスプーンを入れきれいにすることと、ピザ作りです。ピザを丸めた生地から作るのは初めてで、こんなきかずはないなと思いました。とても楽しかったです。今度ぜひ家族といっしょにお店に行きたいです。

3A 児童

○はんなりさんというお店の店員体験けんで楽しかったことは、レジでのお会計とお店のおすすめを言うことです。来年がうま年なので、うまのかぎりがお店のおすすめだと知りました。気をつけたことは、レジのお会計の時におねだんをまちがえないようにすることです。お客様に対する言葉づかいも気をつけました。レジの使い方などたくさんのこと学びました。さい後の方にはなれてきたので、もっとやりたかったです。ものすごく楽しかった店員体験けんでした。

3B 児童



6年生 東京美術館見学 11月10日（月）

私が美術館に訪れたのは2回目です。今回は東京都美術館の「ゴッホ展～家族がない画家の夢～」を美術館の休館日に貸切で行くことができました。ゴッホだけでなく、ゴッホに関係している画家の作品も展示しており、それぞれの個性が筆づかいなどを通して絵に表れていたので面白かったです。

私はゴッホの自画像と、ゴッホの肖像画の違いが面白いと思いました。ゴッホが描いたゴッホと、他の画家が描いたゴッホでは全く雰囲気が違いました。またゴッホが亡くなつたあと、弟のテオの家族がゴッホの作品を大切に守り、広め続けたことで、今のように世界中で有名になったという話に家族の絆のすごさを感じました。ゴッホ一人の才能だけでなく、支えてくれた家族の思いがあったからこそ、作品が時代をこえて多くの人に届いているのだと感じました。芸術は作者だけでなく、その周りの人々の力も大きいということを初めて知り、家族を大切にしようと思いました。

6B 児童

4年生社会科見学 10月6日（月）

社会科担当 教諭

「ごみの処理と再利用」の学習のまとめとして、有明清掃工場と中央防波堤埋立処分場を見学しました。実際に現地を見て、働く人の話を伺うことで理解を深めました。

～児童の感想～

○有明清掃工場では、1日に360tも出るごみを、1度に6.4tつかめるクレーンで焼却炉に運んでいると聞いて、びっくりしました。点検する人はつま先を固くしたくつをはいてがを予防するなど工夫していて、清掃工場は、せん細などと感じました。埋め立て処分場では、粗大ごみの処理の様子も見ました。粗大ごみで一番多いのは布団だそうです。てっきりクローゼットだと思っていたので、おどろきました。今、気軽にごみを捨てられても、50年後には埋め立て地がいっぱいになって、捨てられなくなってしまいます。そのために、無駄使いをせず、持ち物にはしっかり記名して、余計なごみを減らしていきたいです。

4B 児童

4年生 チェコ大使館訪問 10月20日（月）

私はチェコ大使館に行くことがとても楽しみでした。なぜなら家の近所のいくつかの大使館の前を通る度に「素敵な建物だけど関係者しか入れないはず」と思っていたからです。当日は自分がチェコの国の領域に入るとワクワクして大使館の門をくぐりました。大使館の方は私たちの質問にとても丁寧に答えて下さり、中でも一番興味深かつたお話はチェコで親しまれているスイーツについてです。プラムをたっぷり乗せて焼き上げる丸い菓子パンのコラーチや、山のような形の伝統的なスponzjekyのヴァーノチュカ。どれもバターや果物の香りが漂ってきそうな魅力的な名前で思わず家に帰つて調べました。素敵なお土産をもらつた1日でした！

4A 児童



5A 児童

5年生 池袋防災館見学 10月27日（月）

池袋防災館に行きました。1番目に残ったことは、初期消火体験です。

安全ピンを抜く。ホースを火に向ける。レバーを握る。この3手順です。私は人生で火事が起らない限り、消防器を実際に使わないと思っていました。だから「練習してみましょう」と言われた時には、とてもわくわくしていました。もし本当に目の前で火事が起ったときに、私が火を消して人の命が助かると思うとやり方を教えてくださった方や、先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

またプライベートで防災館に行って他の体験もしてみたいと思います。



5年生 社会科見学 11月13日（木）

日産追浜工場見学に行ってまいりました。事前に調べたことでは、車は800工程以上の検査をすると学習しましたが、追浜工場では1200工程もの検査を行っていると聞いて、とても驚きました。また、1つの車につき約3万個使い、24時間もかかることを知り、色々なところと協力して作っていることをより実感しました。見学する前は、ただ道路に車が走っているとしか思っていませんでしたが、この見学を通してロボットや人の手で作られ、たくさんの検査工程を通つたすごい車なのだと思いながら車を見るができるようになりました。また今回のような機会があれば、ぜひ自動車工場見学をしたいです。



5A 児童

鑑賞会 10月17日（金）

担当教諭

10月17日（金）演劇鑑賞会が講堂で行われました。絵本・童話作家である木村裕一さんの作品、「あらしのよるに」を、夢団さんがミュージカルとして舞台化しました。本来は食べられる側と食べる側である、ヤギのメイとオオカミのガブですが、嵐の夜にお互いの姿が見えない真っ暗な山小屋の中で出会い、話しているうちにすっかり仲良くなりました。他の仲間には知られないよう、「ひみつ友だち」になつてたくさん遊びました。しかし、楽しい時間は続きませんでした。仲間に見つかり、メイとガブは会うことはできなくなつてしましました。それでも会いたい！どんどん追い詰められて、心が締め付けられるような場面もありました。児童席からは悲しみの声や笑い声、様々な声が聞こえ、物語の世界に入りこんでいる様子でした。生きるということ、友だちとのきずな、自分の気持ちを信じる強さや困難のあとに希望があることなど、多くのことを考えさせられました。夢団の皆さんありがとうございました。



感謝の会 11月21日(金)



児童委員会担当 教諭
11月21日(金)にTV朝会で「感謝の会」を行いました。日頃、児童の学校生活を支えてくださっている事務・給食・用務・守衛の方々に、感謝の気持ちを伝える会です。各クラスで工夫し、気持ちを込めた作品を作り、感謝の品と一緒に届けました。

12月3日(水)には6年生の児童委員4名が都営バス渋谷営業所を訪ね、感謝のご挨拶をする予定です。

私たち6年生は登下校を支えてくださっている都バスの方々へ卓上カレンダーをつくりました。1月から12月の12枚のカレンダーを班ごとに分担し、休み時間なども有効活用して作り上げました。それぞれの季節に合った、色あざやかで世界で一つのすてきな作品になったと思います。また、表紙とカレンダーをのせる土台は児童委員が担当し、都バスならではの黄緑色を基調として毎日乗るバスを表現しました。6年生みんなの個性が光る唯一無二の作品を都バスの方々にお渡しすることが楽しみです。

またTV朝会では、それぞれの学年らしさが感じられる元気な作品を見ることができ、みんなの「ありがとう」が伝わってきました。いつもなかなか言えずにいる「ありがとう」を身近な人にもたくさん届けたいです。

6B児童



感謝



赤い羽根共同募金 11月10日(月)～14日(金)

1947年、日本では大きな戦争が終わったばかりで、困っている人のために助け合っていこうという想いから赤い羽根共同募金が始まりました。それ以降、毎年10月1日から全国各地で赤い羽根募金が行われています。本校では11月10日(月)～14日(金)の間、3～6年生の児童委員が体育館前で募金活動をしました。多くの児童や教職員の皆様が「助け合いの心」をもって協力してください、総額60,238円集まりました。温かい心が込められた募金はお年寄りや体の不自由な人、子どもたちのために役立てられるそうです。ご協力をありがとうございました。



防犯訓練 教職員・児童

11月13日(木)26日(水)

担当教諭

11月13日に行われた教職員の防犯訓練では、ケレベロスさすまた(相手の足を捕捉する)や盾を実際に使ってみて、学校としての防犯力を高める取り組みになりました。渋谷警察の方が不審者役になり、実際に対峙することで必要な道具が見えてきました。今後、催涙スプレーなど、離れた位置から使える防具を拡充させたいです。

26日に実施された不審者侵入対応訓練では、校庭のすずかけ側の南門より警部補の佐藤係長が不審者役で侵入し、発見した教員が普段から身につけているスクールガードを発砲しました。不審者が2階3階を徘徊する中、全校児童が教室のカーテンを閉めて窓やドアに鍵をかけ、声を出さずに身をひそめ静かに教室に立てこもることができました。訓練後の話の中で、不審な人物が万が一校内に侵入した際の、児童・教職員の動きや言葉がけの確認をしました。

Expo Room (エクスボルーム)

つばさ、英語、算数少人数の授業で使用しているコンピュータ室を、多様な学びを体験できる探求的(Explore)な活動の拠点へなるように願いを込め、「Expo Room (エクスボルーム)」に名称変更いたしました。

すずかけ～テーブルマナー～ 11月19日(水)

担当教諭

ホテルオークラにて5年生が和食のテーブルマナーを行ないました。以下、児童の感想をご紹介いたします。

私はテーブルマナーでお椀の蓋の取り方が印象に残っています。なぜなら、いつもお椀の蓋を取ると水蒸氣で水が付いているので、蓋を置くときや閉める時などにこぼれてしまうからです。お椀の蓋は「の」の字を書くように回して開けるそうです。私は蓋を取るときに「の」の字を書くようにして取つたことがなかったので、今後お椀が出たらやってみたいと思います。

5A児童



今日のテーブルマナーの授業では、日本食の正しい食べ方やお箸の使い方についてたくさん教えていただきました。私は今まで「手皿」を使うのが良いマナーだと思っていたが、実は正しくないと知り、とても勉強になりました。また、食べ終わった後はお箸を箸袋の中に入れ、斜めに折ると「美味しいいただきました。」という合図になることも教えていただき、料理を作ってくれた方への感謝の気持ちを表す大切なマナーだと感じました。授業の後、自分でも調べてみたところ、日本の食事のマナーには相手や作ってくれた方への感謝の気持ちが込められていることが分かりました。これからも正しいマナーを意識して感謝の気持ちを込めて食べたいです。

5B児童

12月の行事



「行事予定」は非公開とさせていただきます。